

# 平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	姉妹都市・友好都市親善事業			会計	款	項目	大専	小専
政策	06	公・民パートナーシップによる構想実現と効率的、効果的行政運営（行政の充実）		主管課	秘書広報課			
施策	6-2	健全で効率的な行財政運営		主管課長	中野 秀紀			

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	姉妹都市（相馬市、信濃町、能登町）・友好都市（北上市）	意図	親善交流経費を明確にし、友好関係の維持・発展に努める。
事業内容	姉妹都市・友好都市親善交流に関する経費を明確化し、友好関係の維持・発展に繋げていくもの。			
事業開始から現在までの状況変化	平成23年度まで経常経費として計上していた姉妹都市・友好都市との親善交流経費を平成24年度から政策経費として事業化し、経費を明確化することで親善交流に関して検証が可能となった。引き続き、姉妹都市・友好都市との交流の維持・発展に努める。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）						算定式（成果指標の場合）
事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成30年度は、流山市民まつり前夜祭において、姉妹都市盟約を結んだ相馬市、信濃町や能登町、また友好都市である北上市との定期的な親善交流を図り、各都市との友好関係の発展を図った。 また、姉妹都市・友好都市との一層の親睦を図るため特別職が各都市へ表敬訪問した。			
事務事業の総コスト(a=b+c)	1,219,100	1,188,780	1,153,840				
事業費(b)(円)	420,700	405,680	379,240				
うち一般財源	420,700	405,680	379,240				
職員給与費(c)(円)	798,400	783,100	774,600				
人役・職員(人)	0.10	0.10	0.10				
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)	0.10	0.10	0.10				
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	姉妹都市・友好都市との各部署における親善交流を維持し、効果を高める。	③取組における課題(Check)	姉妹都市・友好都市に対する市民理解を深め、地域経済の活性化等、相乗効果を図る。
②H30に実施した取組(Do)	姉妹都市・友好都市それぞれの行事に特別職が表敬訪問した。流山市民まつり前夜祭へ姉妹都市・友好都市関係者を招待し交流発展に努めた。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	行政間のみならず、市民間レベルによる活性化を図れるよう各都市との交流を進める。